

授 業 科 目 名	必修・選択	単位	学期	対象学年	担 当 教 員 名
就業力の育成	B選択	1	前期	3	応化就職担当講座教員 キャリア開発課職員
授業科目の英文名： Seminar to Enforce the Potential for Starting Work					
<p>【授業のねらい】</p> <p>「自分は何がしたいのか?」、「何ができるのか?」、就職活動を前にして不安になり、自分に自信がなくなることがあるかもしれません。そのような状況であっても、みなさんは、就職活動に入り、学部、もしくは、大学院在学中に「自分にふさわしい仕事」の組織から内定を獲得する必要があります。働く意味を考え、情報戦とも言われる就職戦線の現況を理解し、自己取材し、数十年後の自己像を描き、就職への意欲を高め、さらに、求められている人物像に沿った適切な自己表現を競争的な雰囲気の中でも行うことが必要になります。本授業の狙いは、採用内定の獲得と、仕事の継続を我が事として考える就業力を高めることにあります。</p>					
<p>【具体的な到達目標】</p> <p>学部卒業後の進路（大学院進学・就職）を明確にし、20代から50代の経時的なキャリア・プランを立て、それを実行に移すノウハウを習得することが目標です。具体的には、①業界や企業の構造や状況、組織や仕事の内容に対する眺め方を身につけること、②今いる立場（大学で体得した専門的知識とスキル、質問への即応力など）を背景にして、自分の希望や適性を明確化できるようになること、③履歴書、エントリーシート、面接に有効な文書作成の技法を知ること、④これらを正課内で団体戦として取り組むことにより、自分の将来を見据えたキャリア意識を向上させることです。その結果、今後の卒業研究や修士課程での在学期間を自発的に懸命に努力するようになって欲しいと願っています。</p>					
<p>【授業の内容】</p> <p>「就職氷河期の常態化」、「出口の見えない就職難」の時こそ、戦略的な就職活動で目指すキャリアを獲得しなければなりません。基本的な就職活動のポイント（下記の【備考】欄）を「早めに押さえ、的確に行動する」ことで、キャリアへの達成感と満足感の高い就職活動を実現させることができます。講義内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概論（講演形式）</li> <li>2. 目指す仕事の<b>イメージ作り</b>と業界・企業研究（自分を取材し、相手を分析すること）</li> <li>3. <b>履歴書とエントリーシート</b>作成演習（進むゴールを眺めた文章の組み立てと表現）</li> <li>4. <b>グループディスカッション</b>（話し方、聴き方、まとめ方）</li> <li>5. 面接選考で<b>観られているポイントの理解</b>（面接での話し方、レスポンス、距離感など）</li> <li>6. <b>内定学生と語る</b>“就職活動のすべて”（苦労点や、つらいときの乗り越え方）</li> <li>7. <b>大学外部のキャリア・コーディネータとの話し合い</b></li> <li>8. 内定獲得後のキャリア形成</li> </ol>					
【時間外学習】 企業見学を含めた「理系企業による1dayインターンシップ」が入る場合がある。					
【教科書】 なし。配布用の参考資料を用意します。					
【参考書】 『あしたをつかめ -- 平成若者仕事図鑑 --』（NHK 教育） <a href="http://www.nhk.or.jp/shigoto/">http://www.nhk.or.jp/shigoto/</a> 『プロフェッショナル』（NHK） <a href="http://www.nhk.or.jp/professional/">http://www.nhk.or.jp/professional/</a>					
【成績評価の方法及び評価割合】 エントリーシート、履歴書、レポートなどの提出で総合評価をします。文章作成では、「総論-各論-結論」型を意識してください。					
【注意事項】 一般的な講義形式ではなく、参加型の授業です。常に前向きな意識で受講して下さい。本授業は「アプローチ」指導なので、それを自分にあてはめておこなう学習姿勢が必要です。					
<p>【備考】</p> <p><u>自分にふさわしい仕事を見つけるために下記の点を意識して講義に臨んで下さい。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 将来、自分が何をしているか：働くとは何か、なぜ就職活動か？</li> <li>b. 就職戦線について：最近の状況はどうなっているのか、どんなプロセスで活動すればよいのか？</li> <li>c. 自己分析：何をすべきかの第一歩。「<u>今、どこにいるのか？今後何処に向かって行きたいのか？</u>」自己取材。</li> <li>d. 業界・業種・企業研究：どんな商売なのか？ どんな課題があるのか？</li> <li>e. 職種職能研究：どんな仕事があるのか？ そこではどんな人を求めているのか？</li> <li>f. 自分表現・再構成：求められている人材像に合わせた自己PR、志望動機、自己の未来イメージの設計。</li> </ol>					

## 「就業力の育成（2013年の講義予定）」～スケジュールと概要～

記された日程は目安（予定）です。授業内容は、学部3年生（大学院1年も可）を主対象とし、途中の講義では、低学年の参加も可能としています。前期の木曜1時限目に関講。なお、事前準備の必要な場合は、前の週の授業時に、発表いたします。

### ① 4月25日（木） オリエンテーション

#### 「就活から始まる人生設計について」－仕事選びは、生き方選び－

まず、卒業後の「働くこと」や「仕事に就く」ということ、自分を変えるための「キャリアのヒント」を紹介。「働く姿」をイメージさせることで、仕事に対する「方向性」や就活前に「やっておくべきこと」「磨いておく自分の感性」を知ってもらう。

### ② 5月9日（木） 「目指す仕事の“こだわり方”と“落とし穴”」

卒業後に目指すキャリアや業界、将来取り組もうと思っている仕事、などの領域を拡げ、まず、やれそうな仕事、続きそうな仕事とは何か？逆にできそうにない仕事、やりたくない仕事とは何か？そのイメージすることで、伸ばしたい自分の可能性やポテンシャルを高める。

### ③ 5月16日（木） 「コミュニケーション入門～ダーウィンの卵」

#### ★工学部事務棟 第1会議室

会社の仕事で十分に想定されるビジネス課題に対してグループで議論する作業を行います。このグループワークを通じて、積極的な自分、逆に、話したくても話せない、他人と接触することが苦手な自分を発見するはず。裸の自分をみつけ、その長所を就活に活かし、短所に対処することを意識することが目的です。

### ④ 5月23日（木） 「業界と企業のみつけ方」[職業適性検査の受検]

授業の前半では、3月に卒業した先輩の最終進路データを分析し、業界と企業のみつけ方を考える。授業の後半では、「職業適性検査」を受検。適性検査の結果は、後日実施の就職情報社のフォローアップによって、検査結果をより深く読み解き、仕事との相性やマッチングの広い可能性を体感させる。[授業終了後：リクナビ・内田氏説明]

### ⑤ 5月30日（木） 「企業採用担当者と語る」（1年～3年対象）

業界・企業の人事担当および人材育成のエキスパートの方たちによる、「今、企業はどんな人材を求めているのか？」「今の学生に何を期待しているのか？」「求める能力とは？」といった実情を伺う。[大分キャンノンマテリアル、山九（もしくは、三井ハイテック、人事教育部の溝田氏）、ジェイデバイスを予定]

### ⑥ 6月6日（木） 「若手企業人と話そう」－OB・OGを見て知る仕事の魅力とは？ (1年～3年対象)

本学OB・OGで就職後、第一線で活躍されている方から、入社から現在までの経験や実績、課題や壁、仕事の夢・将来、学生時代にやるべきことなどを伺い、仕事への意識の“底上げ”を図る。

### ⑦ 6月13日（木） 「職業適性検査結果のフォローアップ」

この検査結果により、これまで自分自身がイメージしていた「自分自身」と、検査結果から見える「客観的・現実的」なギャップを一度知ること、仕事・将来への方向性と可能性、視野を拡げることが狙いとなる。[授業終了後：マイナビ・小田氏説明]

⑧ 6月20日(木) 「内定学生と語ろう」

応用化学科・メカトロニクスコースの内定を獲得した先輩たち(学部・大学院)が歩んだ、大学院進学・就職活動の“道”へのこだわり(覚悟)、就職活動の取り組み方、失敗・挫折との向き合い方、研究室での過ごし方など、身近な距離感でのトークイベントを行う。

⑨ 6月27日(木) 「考えたことを書いてみようー履歴書&ES作成演習」

履歴書とESを書くための「目的」、題材にすべきネタ、受け取った人事担当者の視点を知ることで、もう一度、エントリーシートを書き、“考えた”ことを“文字にする=書くこと”へのコツを掴む。さらに、書く内容の“ストーリー性”“戦略性”などを考え、質の高い「読ませる」履歴書・ESの書き方を、体得する。

⑩ 7月4日(木) 「グループ・ディスカッション」★工学部事務棟 第1会議室

集団面接の一環として行われる、グループ・ディスカッションの目的・狙いを紹介後、内定した先輩(院2年生・学部4年生)を交え、実際にディスカッションを2回体験してみる。「聴くこと」「考えること」「話すこと」を実践し、実施後に「振り返り」「フォローアップ」を行い、グループ・コミュニケーションでの自分の「弱み」「課題」を知る。

⑪ 7月12日(木) 「面接とは?双方にとっての“選考の場”です」

集団面接と個人面接、それぞれの選考プロセスと狙いを説明。近年の企業の人事担当者の視点や、面接で押さえるべきポイント、緊張感のある場面で自分の考えをどのように“語る”のか、内定した先輩の経験談や、実践形式のワークショップを交えて、学生の「対人対応力」「レスポンス」「距離感」を体得させる。

⑫ 7月18日(木) 「総括」ー内定学生を交えた意見交換会ー

就職活動を終え、内定を獲得した(他学部も含めた)先輩による講演(1人10分×3名)で、就活の実態、思わぬ挫折・失敗体験、頑張ってきたこと、などを話した後、授業参加学生から出された「質問」に、答えていただく。最後に、就職活動のポイントやスキルアップのヒント、スケジュールリング、落ち込んだ時のモチベーションアップなど、これから就活をする学生へのメッセージをいただく。